

12月市議会 定例会報告



昨年12月4日から18日まで、15日間の会期で開催されました。

この議会では、専決処分¹の報告1件、条例案7件、予算案7件、事件案7件のあわせて22件が審議されました。

また、議員提案による意見書などについても審議されました。

主な内容をお知らせします。

条例

「中野市債権管理条例」の制定
市の債権管理について、公正かつ公平な市民負担の確保と健全な財政運営を図るため、必要な事項を定める本条例案は、修正の上、可決されました。

「中野市議会政務調査費の交付に関する条例」の一部改正
地方自治法の改正に伴い、政務調査費の名称が政務活動費に改められ、調査研究に限大されたことについて、所要の改正を行いました。

「中野市市税条例」の一部改正
地方税法の改正に伴い、固定資産税の償却資産の課税標準の軽減と、個人市民税の寄

附金税額控除に関して対象範囲を拡大するため、所要の改正を行いました。

「中野市選挙管理委員会及び議会等の要求により出頭した者に対する実費弁償支給条例」の一部改正

地方自治法の改正に伴い、議会本会議における公聴会へ出席した者および参考人に実費弁償を行うため、所要の改正を行いました。

「中野市保育所条例」の一部改正

中野市保育所整備計画に基づき、建築から50年以上が経過し、施設が老朽化している「みよし保育園」を廃止し、新たな保育施設を整備するため、所要の改正を行いました。

「中野市暴力団排除条例」の一部改正

暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の改正に伴い、本条例における同法の引用条項を整理するため、所要の改正を行いました。

「中野市間山温泉公園条例」の一部改正

ぼんぼこの湯の利用料金のうち、浴場と広間の利用料については、統一料金とし、また、回数券の料金および回数料金を改定し、団体料金を廃止する本条例案は、継続審査となりました。

補正予算

《一般会計》

平成24年度の一般会計予算から、39万余円を減額し、補正後の予算総額を195億5901万余円としました。

主な歳出の内容は次のとおりです。

《議会費》

●議員人件費で、議員の退任および新たに就任されたことに伴い、207万余円の減額

●総務費
●企画費では、北信広域連合への負担金の確定に伴い、負担金197万余円の減額

●情報通信施設事業特別会計
●情報通信施設事業特別会計繰出金で、繰越金の確定などに伴い、436万余円の減額

●賦課徴収費で、緊急雇用創出事業を活用して、臨時職員賃金など247万余円の増額

●民生費
●社会福祉総務費では、中国残留邦人の転入や医療支援費の増加に伴い、扶助費170万余円の増額

●衛生費
●環境衛生費および清掃総務費で、北信保健衛生施設組合への負担金の確定に伴い、負

担金3561万余円の減額

●農林水産業費
●農業施設等災害復旧事業費で、8月に発生した豪雨および落雷による被害を受けた農業施設の復旧工事費として2720万円の追加

●交通安全対策特別事業費で、通学路緊急合同点検の結果、通学児童生徒の交通安全のため、転落防止柵などの設置工事費1500万円の増額

●教育費
●埋蔵文化財発掘調査事業費で、柳沢遺跡範囲確認調査で、県教委の指導により調査計画を再検討するため、412万余円の減額

●図書館管理運営事業費では、緊急雇用創出事業を活用して、図書資料整備を行うため、64万余円の追加

協定の締結

本市および飯山市と山ノ内町、木島平村、野沢温泉村および栄村との間において、北信地域定住自立圏形成に関する協定を締結するため、「中野市定住自立圏形成協定の議決に関する条例」に基づき、それぞれ、議会の議決を得ました。

副市長退任ごあいさつ

高嶋 俊郎



高嶋前副市長

い厳しい時代の中でありましたが、多くの皆様方の温かいご指導ご鞭撻をいただき、市民福祉の向上に微力を尽くしてまいりました。

在任中に皆様方から賜りましたご支援、ご協力に心から感謝を申し上げます。

このたび、一身上の都合により、平成24年12月18日をもって退任いたしました。世界的な経済危機や東日本大震災の発生など、かつてな

終わりに、中野市のますますのご発展と市民の皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、退任のごあいさつとさせていただきます。

教育長退任ごあいさつ

栗原 満



栗原前教育長

ましたが、市民の皆様方の温かいご指導ご鞭撻をいただき、微力ではありますが教育行政を進めることができました。

在任中は、市民教育懇話会やPTA総会等、皆様方から賜りましたご支援ご協力に心から御礼申し上げます。

このたび、一身上の都合により平成24年12月18日をもって退任させていただきますことになりました。約3年9カ月の任期であり

終わりに、中野市のますますのご発展と市民の皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。退任のごあいさつとさせていただきます。

北信地域定住自立圏共生ビジョンを策定しました

本市と飯山市は、定住自立圏構想における中心市として、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村と北信地域定住自立圏の形成に向けて、連携事業や役割分担について協議を進めてきました。

各市町村議会の議決を経て、平成24年12月13日、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村と、「北信地域定住自立圏形成に関する協定」を締結しました。協定に基づき具体的な取り組みを進めるた

趣旨

安心して暮らせる持続可能な地域を形成し、大都市圏への人口流出による地方圏の人口減少を食い止める国の定住自立圏構想の下、圏域として必要な生活機能の確保に関して中心的な役割を担う中心市と連携市町村が、役割分担と相互の連携協力の下に行う取り組みなどについて協議し、圏域全体の活性化と魅力ある地域を形成するものです。

構成市町村

中心市：中野市、飯山市
 連携市町村：山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村

期間

平成24～28年度（5年間）

問い合わせ先

市役所政策情報課政策推進係
 ☎(22) 21111 (内線216)

	取組事項	取組内容	連携事業
生活機能の強化	圏域医療体制の構築	中核的医療機関を中心とした医療連携体制を推進し、住民が安心して暮らせる圏域医療体制の構築を図る。	再日事 院休運 病支運 総合支所 信築療病 北構築業、事業 制
	地域生活の充実	情報基盤、福祉、環境、企業誘致、雇用促進、教育、防災、子育て支援、消費者被害対策等、住民生活に密接な事業を推進する。	岳南広域消防無 線デジタル化事 業他
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通の維持	広域的な地域公共交通の課題について研究、検討し圏域をつなぐバスや鉄道路線など、住民の日常生活や経済活動の向上に必要な公共交通の利便性の向上と運行の維持・確保を図る。	鉄道軌道輸送対 策、廃止路線バ ス対策他
	圏域内外の交流促進	広域的観光等の促進による圏域内外の人口の流れの創出を図る。	広域観光推進事業
圏域マネジメント能力の強化	市町村等の連携強化・人材育成	市町村職員等の合同研修会、人事交流を行う。	専門分野におけ る市町村合同研 修会、職員等 の交流